

地域中小企業のデジタル化に貢献

DX/IoT化に対するコンサルティング活動について

アルプスアルパインは、地域中小企業が抱える DX/IoT 化の推進に対し独自のコンサルティングチーム(以下、「身の丈 DX/IoT 推進チーム」)を結成しました。

この取り組みについて、一定の成果が見られたため活動内容を紹介いたします。

取り組みの背景と課題

背景

ノウハウを持つ人材の不足により、中小企業が DX/IoT 化を推進できないという課題があります。当社の協力工場にあたる株式会社北光(以下、北光)も同様の課題を抱えています。

課題

北光は工程ごとに手書きの紙による作業管理を行っており、具体的に以下の課題を抱えています。

- ①手書きによる作業者の工数負荷が膨大で紙の保管場所が必要。
- ②生産状況は現場でしか見えず、共有がされていない。
- ③問題発生時、紙の保管では該当資料を探す際に膨大な手間がかかる。

取り組み内容

今回のコンサルでは DX/IoT 化のシステム導入を 4 段階に分け行い、約 1 年間かけて取り組みました。

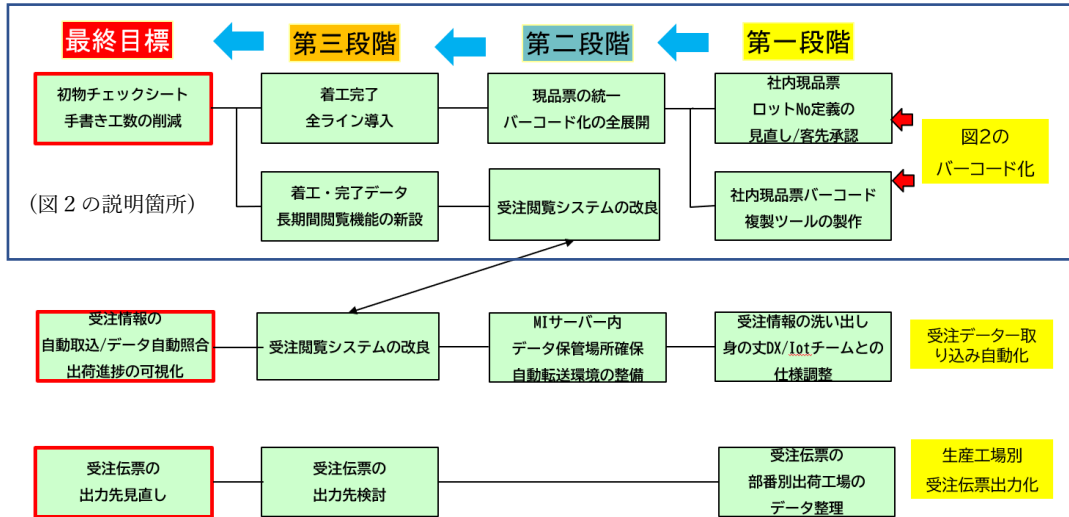


図 1. 段階別の取り組み内容

改善内容

図 2 は今回の取り組みにおける受注書バーコード化を示しています。受注が入った際にデータをバーコードで管理します。バーコードに入っている情報に基づき加工～出荷を行う為、記録管理がなされ生産状況の見える化、共有がされるようになりました。また、出荷のデータをもとに請求書伝票もデジタルで作成されるよう改善を行った為、伝票作成における工数の削減も達成されました。

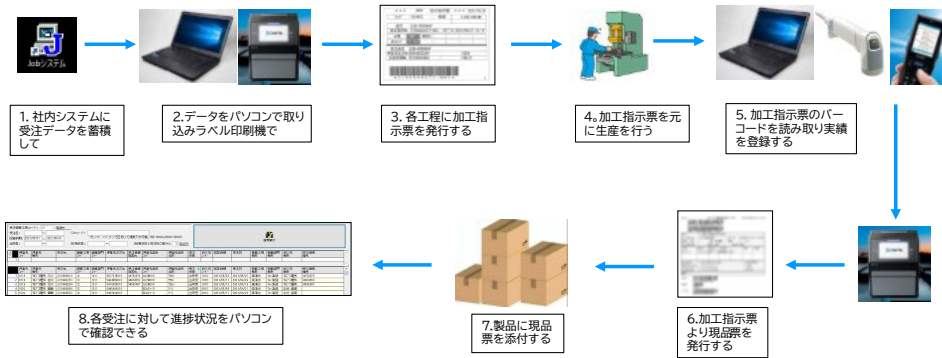


図 2. バーコード化の作業の流れ



図 3. 実際に導入したバーコード化システム

今回の改善では受注から出荷までの過程の中で、19もの工程においてIoT/DX化により改善を行うことができました。図 3 は北光の実作業の流れを示しています。具体的には赤

枠で囲っている箇所が従来手作業だった工程が IoT/DX 化によりシステム化された工程です。

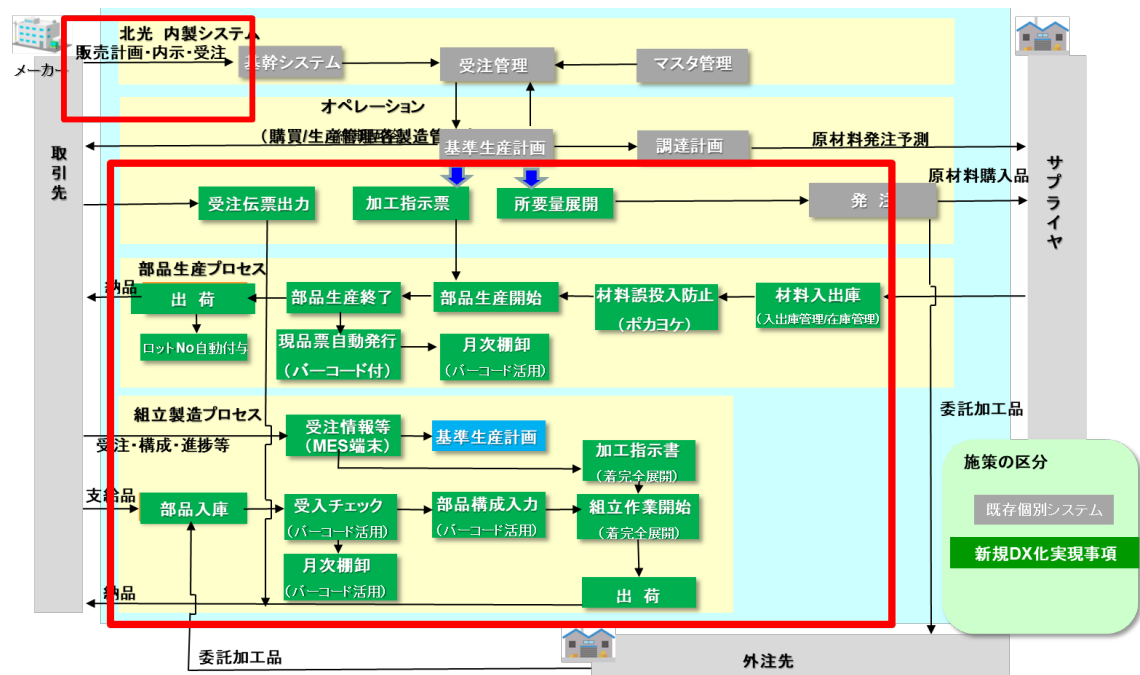


図 4. 北光の工程における IoT/DX 化が実施された範囲を示した図

また、今回の取り組みに関し北光の代表取締役社長 佐藤伸也氏より「今まで高度に属人化されていた受発注業務がアルプスアルパイン様との連携、支援で自動化されたことによりサブシステムとして手書き現品票の自動印刷や加工指示、材料発注等の自動化につながりました。結果として大幅な現場の工数改善につながったことは大きな成果でした。」とのコメントをいただきました。

今後について

アルプスアルパインは、今後も北光との定期的な打合せを実施し、業務改善のサポートを継続していくと共に、今回の経験を活かし、他中小企業の DX/IoT コンサル活動も視野に入れ中小企業活性化に貢献して行く取り組みを行ってまいります。

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

アルプスアルパイン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 PR 課

電話 050-3311-0617 (代表)

alpsalpine-pr@alpsalpine.com